



春まだ浅き今日このごろ、皆様いかがお過ごしですか。花粉症の方にはつらい季節になりました。現在、国民の約20%がスギ花粉症だといわれているそうです。外出時はマスクの着用をして、体調には十分留意されお過ごし下さい。

土器川リバーキーパーズ通信は、皆様のご意見・ご質問に河川管理者としてお答えしていくものです。土器川に関して、気になっていること、わからないことなど、どしどしご意見をお寄せください。今回は、「土器川堆肥」の紹介と「潮止堰の点検」についてお知らせします。

キーワード: 土器川堆肥



○堆肥化実施の経緯

堤防の刈草及び伐採木は、平成12年まで野焼きにより処理していましたが、平成13年の「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(廃掃法)の改正により、野焼きが全面禁止となり、一般廃棄物として焼却処理するようになりました。

しかし、堤防除草等で発生する刈草の焼却はCO₂による地球温暖化を加速させる他、処分コストの問題があり、環境負荷及びライフサイクルコストの低減を図る必要があります。本工法は国土交通省が推進する「みどりのリサイクルの推進」に基づき刈草及び伐採木の堆肥化を実施し、循環型社会形成の推進に寄与するものです。

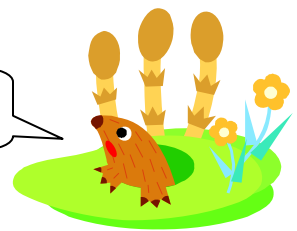
○堆肥化の特徴

刈草等の堆肥化は、微生物の働きにより行われます。従来の堆肥化技術であった好気性菌に対し、今回は堆肥化促進剤を用いた**条件的嫌気性菌**を採用しました。(右表参照)

これにより、切返し(混合・攪拌作業)の回数が少なくなり、特別な施設も不要で、悪臭も発生しません。よって、**経済性と環境に有利**になりました。

絶対的好気性菌	酸素が必要な微生物
絶対的嫌気性菌	酸素が嫌いな微生物
条件的嫌気性菌	酸素が少なくても活動できる微生物

微生物ってすごいね!

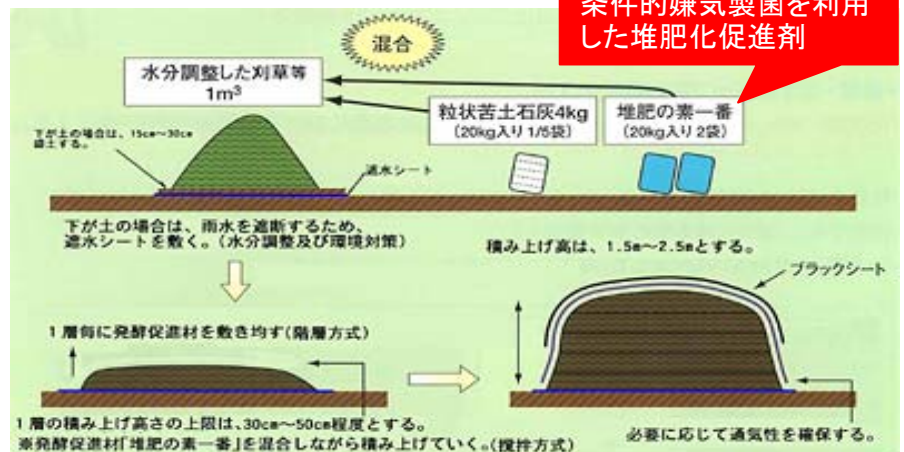


堆肥化に関する微生物の分類

○堆肥化の施工方法

刈草・伐採木をチップ化し、**発酵促進剤**を敷き均し、混合攪拌し、所定の高さにまで積み上げ、ブラックシートで養生します。

この後、約6ヶ月間、**温度管理**、**切返し管理**、**水分管理**を行い使用可能となります。



堆肥仕込みまでの施工手順



堆肥攪拌状況



環境問題に対してリサイクルは有効だね！

地球に優しい処理方法だね。

○「土器川堆肥」の利用

発酵して出来た堆肥は、袋詰めして土器川のイベント等で無料配布しています。

配布した堆肥は、農業用堆肥の基準を満たすほど品質が高いうえに、除草剤を使っていないため、安全で安心して使用できます。また、農業関係だけでなく、家庭菜園や園芸用にも利用可能なことから大変好評で、一般の方々からも喜ばれています。



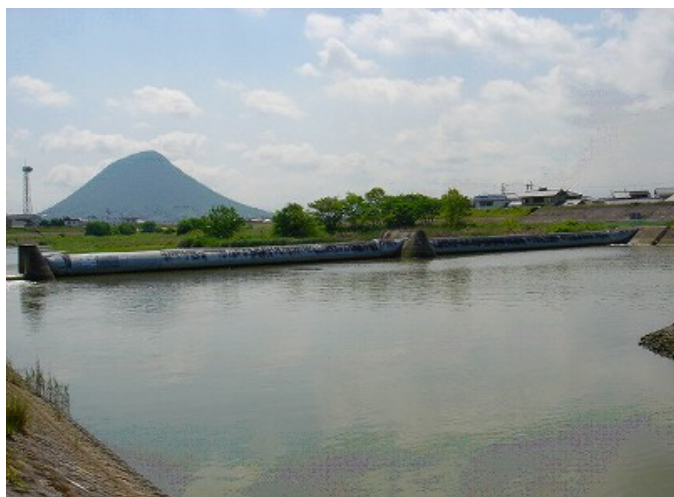
土器川堆肥配布状況

キーワード: 潮止堰の点検



○目的及び概要

土器川河口より約2km上流に設置されている土器川潮止堰は、昭和53年に設置され塩害を防止するという役割を果たしていますが、近年補修を行う回数も増加しています。今後ともこの堰が河川の機能上、重要な役割を果たしていくために、香川河川国道事務所では、堰の老朽化の程度や安全性を確認する必要があると考えています。そのため、平成20年1月13日～平成20年1月16日に現地調査を実施しました。今後、調査結果を取りまとめ、この堰を安全に長く使用するための資料に活かしていく予定です。



土器川潮止堰上流側



現地調査状況(平成20年1月16日)



土器川リバーキーパーズに関するお問合せは
国土交通省四国地方整備局
香川河川国道事務所 <http://www.skr.mlit.go.jp/kagawa/>
〒761-0104 高松市高松町2422-1
TEL:087-844-4315(計画課直通) FAX:087-843-2935

